

## 令和4年度 石川県立内灘高等学校 スクールポリシー（3つの方針）

### （1）アドミッションポリシー [求める生徒像] このような生徒を求めています

本校志望の意志が強く、基本的な生活習慣を送り、本校での学習にかなう学力を有している生徒で、進路実現に積極的に取り組む生徒を求めている。

- 挨拶や礼儀を身につけ、規則正しい生活ができ、前向きに高校生活を送ろうとする生徒
- 学習意欲が高く、自ら進んで勉学に励み、学力の向上をめざす生徒
- 進路実現に向けて明確な目標を掲げて取り組み、未来に向かってチャレンジする生徒
- 生徒会活動、学級活動、地域における社会活動やボランティア活動、部活動等において強い意欲と関心を持ち、学習との両立を図る生徒

### （2）カリキュラムポリシー [教育の方針] このような学びを行います

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示すことにより、授業のねらいや流れを明確に示し、見通しを持って授業に取り組めるようにするとともに、振り返りにより学習状況を自己点検できるようにする。

また、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの学習過程の改善を図ることにより、

I C T等の利活用やグループ学習等の手法を積極的に取り入れることで、相互理解を深め、自己の在り方を見つめさせ、協働の大切さを実感させる。

さらには、地域や社会と連携・協働しながら、これまでの学びを人生や社会に活かそうとする人間力を育むことに

より、学校が地域や社会と連携・協働して、生徒の成長を支え、地域を創生する生徒の育成を図る。

- 中学校までの既習事項の学び直し
  - ・学校設定科目「内灘ベーシック」による基礎的な既習事項の定着
  - ・授業マナー指導の徹底を通じた、授業態度の向上
- 高校生としての基礎・基本の定着
  - ・可視化された、よりわかりやすい授業の推進
  - ・協働的学習の積極的導入による興味・関心・意欲の向上
- 成績上位生徒のさらなる向上
  - ・発展的学習内容を施す授業の工夫
  - ・習熟度別少人数学習における、習熟の早い学習集団への効果的学習法の開発

### （3）ディプロマポリシー [卒業時に身につける力] 卒業までにこのような生徒を育てます

- 規則正しい学校生活を送り、社会生活の基礎となる学習に主体的に取り組む生徒
- 個々の実情に応じた、豊かなコミュニケーション能力を身につけた生徒
- 多様な人々との連携・協働を図った活動を最後まで粘り強くやり抜く生徒